



【 文字を使わない情報の探し方 】

【 研究キーワード：情報検索，ヒューマンインタフェース，感情推定，色彩心理 】

情報科学研究科 知能工学専攻

准教授 梶山 朋子 Tomoko Kajiyama

研究シーズの概要

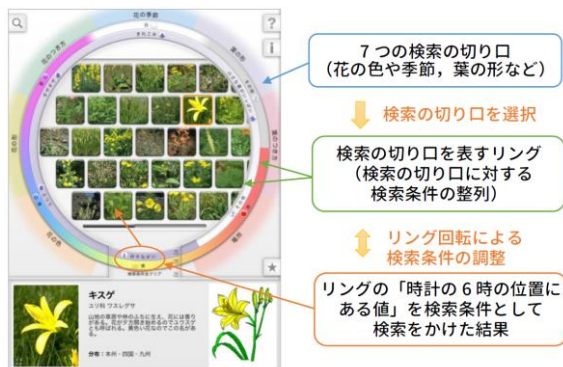
探したい情報のイメージがぼんやりしている時、検索システムに自分の思いを伝えることができず困った経験はありませんか？人が文字を入力することなく、検索システムと心地よく対話しながら、直観的に情報を探ることができる検索手法の提案を目指しています。本手法の応用として、発見学習支援や購買活動支援に取り組んでいます。

研究シーズの詳細

◆研究例 1◆ 発見学習支援

植物図鑑アプリケーション

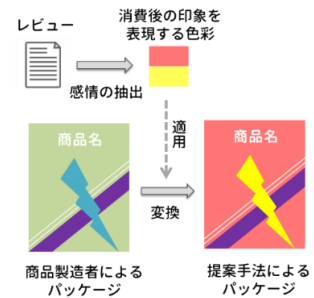
花の色や葉の形など、複数の検索の切り口を組み合わせることにより、植物を絞り込みます。リング操作で検索条件を変更することにより、リング内部に検索結果が表示される仕組みです。異なる切り口からでも同じ植物にたどりつけるため、道端に咲いている花の名前を調べるなど、幼稚園や小学校の調べ学習で活用されています。



◆研究例 2◆ 購買活動支援

消費者の感情を反映させた商品パッケージ

商品に対する期待度と商品消費後の満足度には、相互関係があるといわれています。悪い口コミの拡散や機会損失を防ぐためには、商品本来の価値で評価される必要があります。期待度と満足度のすり合わせるために、消費者の感情を色彩化し、商品パッケージに適用する手法について研究しています。



消費者の感情推定と商品推薦

人が選択した色彩をもとに、その人の感情を推定できるという色彩心理学の概念を活用し、潜在顧客をとりまく色彩情報から、その人の商品探索過程における感情を推定し、商品を推薦する手法について研究しています。

想定される用途・応用例

- ◆商品・サービス検索支援：多面的なデータに対する検索
- ◆知識創造活動支援：情報特徴の学習支援，商品のデザイン支援
- ◆購買活動支援：商品が与える印象，消費者の感情，商品への関心度などの推定，商品推薦

セールスポイント

人と検索システムを直接つなぐ大きな役割を担うのが、検索インタフェースです。この検索インタフェースに着目し、曖昧な情報要求に対応できる検索条件の入力方法や、検索を進めやすい情報の提示方法について研究しています。実店舗では、さまざまな商品に出会ってワクワクしたり、思いがけない商品を見つけてウキウキしたり、たとえ時間がかかったとしても「探す」ということは楽しいですよ。この感覚を大切に、人が検索すること自体を楽しみながら、満足のいく情報へ導かれていくような検索インタフェースの提案を目指しています。

手元にデータはあるけれど、うまく探すことができない等の技術相談もお受けします。植物図鑑アプリケーションは、特許第4441685号の実用化で、企業との共同開発によりリリースしました。実用化を目指した共同研究も大歓迎です。

問い合わせ先：広島市立大学 社会連携センター

TEL:082-830-1764 FAX:082-830-1555

E-mail:shakai@m.hiroshima-cu.ac.jp

〒731-3194

広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号

(情報科学部棟別館1F)